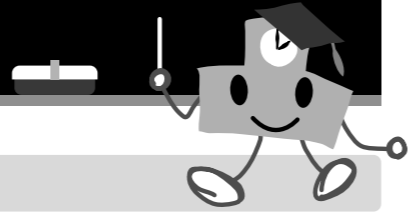


小学校の事例 厚別区 上野幌小学校

# 老人クラブやPTAとともに地域活動。清掃や花壇づくりから環境を意識。

地域の老人クラブやPTA、町内会の方々と共に学校の周りから、清掃活動を展開。地域の一員としての自覚を育み、社会貢献への実感を得ることで、地球環境のためにできることを取組む心を育てている。



## 内容 全校で清掃活動や花壇づくり

本校では、地域の老人クラブである「双葉会」と協力し、環境教育と関連付けながら、様々な活動を行っている。

毎年春に実施している学校周辺での清掃活動は、10年以上前から続いている取組である。例年、1～2年生は校地の周り、3～4年生は近隣のサイクリングロード、5～6年生は厚別南緑地を担当する。この清掃活動をとおり、児童はごみを捨てないこと、地域の環境を大切にすることなどを学んでいる。



グラウンド横の歩道に植栽

また、6月には約30名の老人クラブ会員とともに「ふれあい花壇づくり」として、歩道のマス花壇に花を植えている。これは札幌市が推進する緑化計画「マイフラワー・マイタウン」事業の一環であり、地域のまちづくりセンター等から苗や種の提供を受けて活動している。この活動により、児童は地域を美化しようとする心を育むとともに自然についての関心を高めている。

「ふれあい花壇づくり」で植えた花の世話などはPTAのほか老人会にも手伝ってもらい、地域の協力のもと、全校児童で取組んでいる。終了後には、「双葉会」の方々への感謝の気持ちを、絵やメッセージで表したカードを渡しているほか、教材園で作った野菜の試食会にも招待して、取組の効果を協力していただいた地域の方々とともに実感している。



花の手入れをする子供たち

## 今後 環境や地域への貢献を 自発的に考える

子供たちは地域の人たちと清掃活動や花植えを行うことによって、自然を大切にする思いやりの心を育てるとともに、児童は地域の一員としての自覚や社会貢献を実感している。



花壇に植栽

教材園と花壇の土おこしなど、以前は教員と6年生が行っていた活動を、現在は町内会の方がトラクターでやってくれている。このように地域の方たちに協力してもらったことに対し、自分たちでできることでお礼をすることも重要だと考えている。

今後は、感謝の気持ちを形にするだけでなく、一歩進んで、自分たちが地域のために何ができるか、環境のために何ができるか、ということを考えていけるようにしていきたい。



トラクターで畑おこし



教材園で種植え指導

広げよう  
つなげよう  
環境学習の輪



実施校から  
メッセージ

子供たちは、活動のゴールが目に見えるものに興味を示すので、まず自分たちの身の回りの身近なところから活動していくことが大切です。「環境」という教科がないので、各教科と結び付けて学ぶ必要があります。教科ごとではなく、それぞれ関連づけて学習するのに、何かプログラム化されているものがあればいいと感じています。「環境」という文言が入る教科ができていいのではないのでしょうか。